

「北海道版広域交流型オンライン社会科学習」2024年12月実施要項

1. 目的

本単元は道内の特色ある地域の様子について、人々が協力し、特色のあるまちづくりや観光などの産業の発展に努めていることを理解し、なぜそのような特色をもっているのかを多角的に考え、表現することが目標となる。本時は単元のオリエンテーションにあたる時間として設定している。北海道内の特色が異なる4つの地域にある小学校同士が産業や観光、歴史といった視点で各々の地域を比較することで、道内でも特色が異なることに気付かせる。また、北海道には今回の4校以外にも多くの地域があることから、本単元の学習対象となっている地域への関心を促す。

2. 実施内容

- 札幌市、釧路市、大空町、奥尻町の小学校4校で遠隔授業を行う。
- 遠隔授業の全体進行は、札幌市立白楊小学校の担当者（T1）が行う。各教室の指導は、各学級の担任等（T2）が行う。
- 参加校には広島大学、北海道教育大学釧路校よりサポートスタッフを派遣し、環境設営、授業運営支援、教師・児童のICT支援活動等を行う。
- 遠隔授業では、児童がタブレットから参加できる機会を設ける。

3. 授業の日時および参加予定校

- 2024年12月12日（木）3時間目：10：25～11：10、4時間目：11：15～12：00
- 北海道内小学校の4年生（4校8学級182名）
- 札幌市立白楊小学校（3学級73名）、釧路市立清明小学校（2学級59名）、大空町立女満別小学校（2学級44名）、奥尻町立奥尻小学校（1学級6名）

4. 単元名および目標

- 単元名 「県内の特色ある地域の様子—北海道の市町、みりょくさがし隊—」
- オンライン学習の単元目標

【知識・技能】北海道の特色ある地域について、人々の生活関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考・判断・表現】北海道の特色ある地域の人々の活動や産業とそれらの地域発展を関連付けたり、自分たちの住む地域と比較したりして、その地域の特色を考え、文章で記述したり、白地図にまとめたことを基に説明したりする力を養う。

【学びに向かう姿勢】北海道の特色ある地域について主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、社会生活に対する誇りと愛情、地域の一員としての自覚を養う。

- ・赤色：タブレット活用場面 ・黄色：個別学級の活動場面 ・緑色：学級間の交流場面
- ・PCの基本操作：手を挙げるボタンを押す→発表時のミュート解除→マイクを紙等で隠すことなく大きく話す
- ・発表の基本過程：教師と児童でやりとり→発表者を決める→カメラ前でスタンバイ→発表する

○本時の目標

自分の町と同じこと・違うことを見つけるために質問したり回答したりする活動を通して、自分の町と比較しながら、その町にしかないものや特色の違いに気づくことができる。

○授業前の準備

- ・副読本 ・地図帳 ・クロームブック（グループで1台）

5. 授業展開

T1 (佐々木)の動き	予想される児童の反応	T2 (学級担任)の動き	ホスト, T3 (補助者)の動き
<p>スライドの画面共有</p> <p>〈導入1:どことつながるのかな〉</p> <p>Q1. 今日一緒に勉強するのはどこの学校なのかな? 1分で学校紹介をしよう! (7分)</p> <p>・参加校の位置をスライドで確認する。</p> <p>① 奥尻町の奥尻小, お願いします</p> <p>② 大空町の女満別小, お願いします</p> <p>③ 釧路市の清明小, お願いします</p> <p>④ 札幌市の白楊小, お願いします</p>	<p>児童数、開校年数などを伝える。</p> <p>学校紹介は代表児童3～4名が画用紙で説明する。</p> <p>学校紹介の際には、校舎と学校の航空写真 (Google map) を用意。</p> <p>例：白楊小は今年で開校70周年になります。私たち4年生は全員で73人います。家具を売っているニトリというお店を創った似鳥昭雄さんは白楊小の卒業生です。学校の周りこんな感じです。今日はよろしくお願いします。</p>	<p>・ワークシートの配布 (授業前)</p> <p>画面共有の確認</p> <p>・学校間の距離に注目させ、北海道はとても広いことを再確認させた。</p> <p>・学校紹介をする児童は、あらかじめカメラの前にスタンバイさせる。</p>	<p>・学校紹介の際のカメラ操作の補助。</p>

(周りの様子もカメラで見せる)

〈導入2:学校文化の共通点と相違点を探す〉(15分)

Q2. 自分の学校と同じところや違うところはあるのかな?質問をして比べてみよう!

① 質問内容を考える

各学級でグループに分かれ、自分の学校と比較したいことを考える。(5分)

② 質問の交流

各校で出た質問を他の3校に投げかける。(10分)

質問する人・答える人はカメラの前で話してください。
学校紹介と同じ順番で、各学校から2つ質問する。

Q3. 学校の外にも同じところ違うところはあるかな?

ホワイトボードを見せながら

→学校のことで同じところと違うと

・「●●小は～～だけど、他の小学校はどうですか?」という聞き方で進めていく。

・白楊小では2時間目後の休み時間を「プレイタイム」と呼んでいるけど、他の学校はどのように呼んでいますか?

・女満別小ではスクールバスで登校する人もいるけど、他の学校の人はどうやって登校していますか?

・私たちは、8時半までに登校しますが、他の学校は何時までに登校しますか?

・私たちの体育帽子は水色だけど、他の学校は何色ですか?

・私たちは冬にスキー学習をするけど、他の学校は冬に何をしますか?

・さっき学校の周りの景色が全然違

同じ:どの学校にもあること

※給食はある、休み時間など

違い:自分たちの学校ならではのこと

・質問内容で困っているグループには、声掛けを行い1つでも多く質問を出すことができるようにする。

・質問内容は、教師側で把握しておく。(机間巡視)

・T1(佐々木)が発表学級を指名する。

→交流までに質問者(各学校2名)を決めておく。

・回答者は各学級で答えられそうな人、答えたい人に当てる。

・質問者・回答者に対してマイクの補助。

※回答者はカメラに近づく。

※ここは黒板ではなく、ホワイトボードに表す。(白楊Aのみ)

・ギャラリービューで参加クラスの取組を俯瞰できるようにする

・質問・回答の際のカメラ操作

<p>ころはあったね。では、自分たちが住むまち同士に同じところ違うところはありそう？</p>	<p>ったよ。 ・つくってるものとかが違うそう。</p>		
<p>【本時の課題】：自分の町と同じところ、違うところを見つけよう！</p>			
<p>〈展開：町の特色の共通点と相違点を探す〉</p> <p>Q4. 自分たちが住むまちと同じところや違うところはあるのかな？ 質問したいことを考えよう！ (25分)</p> <p>1. 自分たちのまちに関する情報の確認と質問内容を考えよう！</p> <p>・1時間目の最後は、</p> <p>① 質問をWSに書き出す。 ② 一番聞きたい質問を1つ決める。 ③ 決めた質問をフォームに入力する。 ④ その質問に対する自分たちのまちの答えをWSに書く。</p>	<p>WSに課題記入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの町の情報を確認したい。 ・札幌では玉ねぎがよく採れる。 ・釧路では漁業が盛んだな。 ・女満別には空港があるよ。 ・奥尻ではうにやあわびがよく採れるよ。 <p>☆グループにクロームブック1台用意</p> <p>○質問内容をWSに書き出す。</p> <p>◇質問の数</p> <p>初めに入力する質問は各グループで1個とする。(奥尻は1人1個)</p> <p>一番聞きたいことをグループで1つ決めて、<u>代表児童がフォームに入力する。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の板書(T2) ・WSに課題を書くよう指示する。 <p>・自分の町の情報をもとに、質問を考えることができるよう声掛けを行う。</p> <p>・こちらで想定している視点に関連する質問がいたら、積極的にフォームに書くよう言葉がけを行う。</p>	<p>◇フォームに入力する児童の補助。</p>

※時間があれば他の質問にも答えられるように町の情報を確認しておく。

- ・ 2時間目のはじめから質問タイムを始めるよ。
- ・ いつでも質問できるように各グループで質問する人を1人決めてね。

～フォームで集めた質問～

- ① 作っているもの、とれるもの (緑)
- ② おすすめスポット、できること (黄色)
- ③ 昔からある建物、古くからの伝統 (赤)
- ④ 交通や気候など (青)

スプレッドシート上で色分けする。

※白楊 A のみ

-----ここまで1時間-----

Q5. 自分の学校と同じところや違うところはあるのかな？質問をして比べてみよう！ (30分)

色分けしたスプレッドシートを画面共有みんなから出てきた質問を見てみよう。質問を色で仲間分けしているんだけど、緑はどんな質問の仲間かな？

フォームでの質問の文言

例：ほかの町ではどんな野菜がとれますか？

- ・ その質問に対する自分たちのまちの答えを WS に書く。

～予想される質問内容～

- ・ ほかの町にはどんな祭りがありますか？
- ・ ほかの町にはどんな自然がありますか？
- ・ ほかの町では何が採れますか？
- ・ ほかの町では魚がとれますか？

- ・ 町で何が採れるかについて、気になっている人が多い。
- ・ 観光スポットについての質問もあるね。

- ・ 質問の入力の仕方を確認する。

※事前学習の WS をもとに各グループで町の情報を確認させる。

- ・ 画面共有の確認

- ・ スプレッドシートに注目させ、似ている質問で色分けされていることに気づかせる。

～フォームで集めた質問～

- ① 作っているもの、とれるもの (緑)
- ② おすすめスポット、できること (黄色)
- ③ 昔からある建物、古くからの伝統 (赤)
- ④ 交通や気候など (青)

スプレッドシート上で色分けする。

※白楊 A のみ

色分けしたスプレッドシートを画面共有

- ・〇〇についての質問が多いね。
- ・まずは〇〇についての質問を試みよう。

学校紹介と同じ順番で、視点ごとに分けて質問をしていく。

※各視点で追加の質問がある場合は、フォームではなく、口頭で質問するようにする。

※T1が時間を見ながら声をかける

- ・1つの視点に関する質問が終わった後にWSにまとめる時間を設ける。(1分ほど)
- ・進み具合や時間を見ながら質問タイムの時間を調整していく予定。1周したら、さらに質問を選んでいく。
- ・質問の回答はWSに書き込んでね。

Q6. どんな同じところ、違うところが見つかったかな？(10分)

- ・気づいたことをWSに書こう。

～質問の仕方～

(町の名前)は●●**だけ**ど
ほかの町は●●**です**か？

質問者・回答者はカメラの前で話す。

- ・札幌は雪まつりという観光客が来るお祭りがあるけど、ほかの町にはどんな祭りがありますか？
- ・釧路では釧路湿原をみんなで守ってるけど、他の町にはどんな自然がありますか？
- ・大空町はビートが採れるけど、ほかの町では何が採れますか？
- ・奥尻は魚がたくさん採れるけど、ほかの町では魚がとれますか？
- ・質問の回答をWSに書く。

- ・札幌は雪まつりがあるから観光客がたくさん来る。
- ・雪の降る量は札幌がいちばん多い。

- ・視点ごとに板書をまとめていく。(農業・産業、観光、歴史、その他)

・質問の回答を随時板書する。

- ・T1が発表学級を指名する。

→指名された学級は、質問者を決めてカメラの前で質問する。

回答者もカメラに近づき回答する。

質問者、回答者へのマイクの補助

<ul style="list-style-type: none"> ・同じところがあったら赤で囲んでね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・釧路も奥尻も漁業が盛んだった。 ・全ての町に空港があったよ。 ・どの地域でも雪は降ることが分かった。だけど量が違う。 ・どの町にも畑があった。だけど、採れる作物が違った。 <p>※回答が一致したところは<u>赤で囲う</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どの町も畑があるのに採れる作物が違う点に注目させる。 ・札幌は玉ねぎ ・奥尻は米、ウニ、魚 ・大空町はビート <p>※回答が一致したところは<u>赤で囲む</u></p>	
<p>【本時のまとめ】：同じ北海道でも、同じところ・違うところが見つかった。広い北海道には、町によって特色がありそうだ。</p>			
<p>〈振り返り〉(5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道には、ほかにどんな町があるかな？ ・自分の町との同じところ、違うところが見つかるかも？ <p>◇時間があまれば各学級で振り返り</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・旭川、帯広、函館、室蘭がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめ板書 	

・板書計画

